

まなのちょうじゃでんせつ  
真名野長者伝説に関するおすすめ本

きょうどしりょう かしだし  
郷土資料は貸出ができないため、館内でのご利用をお願いします。

★印の本は郷土以外にもあり、貸出ができます

書名	著者	請求記号	内容
真名野長者物語 三重町蔵 本「内山記」★	芦川政治著	K388.61ア	「内山記」原文・読み下し・口語訳
三重町誌 総集編		K261ミ	p1289 炭焼小五郎の話
万之長者炭焼小五郎 飛鳥 のロマン・草刈山路★	佐藤芳延著	K388.61サ	
大分の民話 第2集★	土屋北彦著	K388	p179 炭焼小五郎
大分県の民話★	日本児童文学 者協会編	K388ニ 388ニ	p84-真名野長者と般若 姫
ふるさとの宝物★	芦川政治著	K388.61ア 388ア	真名野長者伝説
ふるさとの宝物 その式★	ふるさとの歴史・伝 説を承継ぐ会	K388.61フ 388フ	満野長者炭焼小五郎
絵本般若姫 はんやひめ	萩原克則切絵・ 文	K388.61ハ	絵本
炭焼き小五郎物語★	小林しげる再話	C	紙芝居
真名野長者近世物語本の成 立に関する一考察	芦川政治著	K388.61ア	「内山記」他、写本につい て
かいなんしやうき 海南小記★	柳田國男著	K382ヤ 382.1ヤ	p163 炭焼小五郎が事

他多数あります

## インターネットで調べる

検索サイトで「まなのちょうじゃ すみやきこごろう  
真名野長者」「炭焼小五郎」などを調べると、かなりたくさんの情報が  
見つかります。手軽にいろいろな情報を調べるには便利ですが、個人が作っているサイ

トも多く、図書等と合わせての活用をおすすめします。

ぶんごおおのしとしょかん  
豊後大野市図書館 パスファインダー

しらかた  
(調べ方ガイド)



マスコットキャラクター  
ぶんごおおの ぶつころう

まなのちょうじゃでんせつ  
真名野長者伝説について

ぶんごおおのしみえまち ちょうじゃでんせつ やなぎた  
豊後大野市三重町に伝わる長者伝説。民俗学者の柳田  
くにお すみやきこごろう  
國男さんも研究していて、全国に広く分布する炭焼長者  
でんせつ すみやきこごろうものがたり  
伝説のルーツとも言われています。「炭焼小五郎物語」、  
はんやひめものがたり  
「般若姫物語」などとよばれることもあります。

パスファインダーとは… 調べたいと思うことがらについて役立つ資  
料を分かりやすく紹介するものです。  
分からないことがあれば、お気軽にお問い合わせください。

図書館ホームページ→



豊後大野市図書館 0974-22-7733

まなのちようじゃでんせつ  
真名野長者伝説を調べるためのキーワード

まな の ちようじゃでんせつ  
真名野長者 満野長者 満能長者 万之長者 真野長者 真名長者

(真は旧字の「眞」、万は「萬」で記されることもある)

すみやきごころう すみやきちようじゃ たまつひめ  
炭焼小五郎 炭焼長者 玉津姫

はんにゃひめ れんじょうじ うちやまかんのん  
般若姫 (玉津姫の娘) 蓮城寺 内山観音

やなぎたくにお うちやまき ふかたき  
柳田國男 内山記 深田記

※資料によっては「真名野」でない場合があります

「炭焼き」のように「き」が入る場合があります

ちようじゃ はんになつた後、般若姫に関するキーワード

うすきせきぶつ ようめいてんのう くさかりさんろ たまえひめ はんにゃひめ ひめしま まんこうじ  
白杵石仏 用明天皇 草刈山路 玉絵姫 (般若姫の娘) 姫島 万弘寺

ぶんるい せ きごう  
分類 (背ラベルの記号)

主に、K388.16 きょうどしりょう  
郷土資料が中心になります

オ バ ッ ク けんさくき  
図書館のOPAC (検索機) で調べる

〈書名〉に「まなのちようじゃ」と入力。ただし、「まんのちようじゃ」など違<sup>ちが</sup>った読み方をとするものはヒットしないので注意が必要です。

そんなときは〈一般件名〉を使うのもおすすめです。タイトルに「まなのちようじゃ」が入っていない場合や、資料の一部に真名野長者伝説が含まれる場合(大分の昔話など)にもヒットすることがあります。

その他、上記のキーワードを入力して検索をお試しください。

まな の ちようじゃでんせつ がいよう  
真名野長者伝説の概要

な ら みやこ たまつひめ  
昔、奈良の都に玉津姫という娘がいたが、顔にあざがあり年頃になっても良い縁談にえんだん  
めぐ み わみょうじん つ ぶんごのくに ぶんごのくにたまだ  
恵まれなかった。三輪明神からのお告げで、豊後国に行くことに。豊後国玉田には、  
すみや ちごころう そまつ たまつひめ つ  
ひとりで炭焼きをして暮らしている小五郎という粗末な若者がいた。玉津姫はお告げの  
ちごころう きんき ぶち  
とおり小五郎と夫婦になることを希望した。ふたりは近くの淵が「金亀が淵」であることを  
ふち きよ  
知り、淵の水で体を清めると、姫のあざは消え、小五郎も美しい若者となった。ふたりは  
ふち きよ  
淵に落ちていた黄金を持ち帰り、万の長者(真名野長者)と呼ばれるようになった。

この後、ふたりの間にできた娘(般若姫)の物語へと続きます。

れんじょうじ うちやまかんのん  
三重町の蓮城寺(内山観音)は、真名野長者が中国から

れんじょうほうし こんりゅう  
訪れた蓮城法師のために建立したと言われています。



うちやまき  
「内山記」とは？

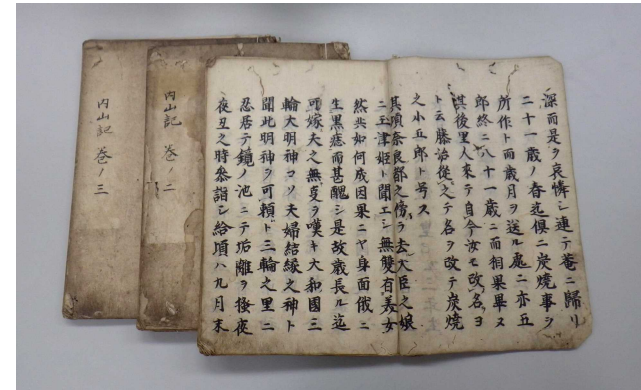
まな の ちようじゃでんせつ  
真名野長者伝説は古くから伝わりますが、その文献ぶんけん  
となるものが内山記です。

さんせい まな の ちようじゃものがたりほん  
近世真名野長者物語本

しゃほん  
のうち、最も古い写本

え どじだいちゅうき  
(江戸時代中期)と言わ

れています。



「内山記」全3巻

ししていうけいぶんかざい  
市指定有形文化財

ぶんごおのししりょうかんしょぞう  
(豊後大野市資料館所蔵)

★図書館に複製本があります